

## 江南高校の図書館活動～利用者の増加を目指して～

愛知県立江南高等学校 教諭 貴田 智子

実習教員 脇田 直子

### 1 はじめに

本校は生徒の大半が国公立大学への進学を希望しており、目標実現に向けて忙しい日々を過ごしている。その中で日常的に読書をする生徒は少なく、図書館利用も限られた生徒に留まっている。図書館も蔵書は古く、数も少ない状況である。そこで図書館利用者の広がりを目指して、行ってきた取り組みについてお伝えしたい。

### 2 活用促進に向けた取り組み

#### (1) 図書委員会の取り組み

前期では、文化祭で日頃図書館に馴染みがない生徒に足を運んでもらえるような企画「クイズラリー」、「古本市」、「おすすめ本のPOP展示」を行っている。「クイズラリー」は、図書館内の10か所に問題とヒント本を配置する。参加者はクイズを解きながら館内を巡ることで様々な書架の本と出会うことができ好評である。図書委員作製の「おすすめ本POP」も力作が多く貸出につながっている。後期では、テーマ展示や先生方のおすすめ本紹介を掲示物にして本と共に展示し、「図書館だより」で案内して図書室利用を促している。

#### (2) 分掌の取り組み

除籍を進め、新規購入本は平置きにして目立たせる工夫を行い、季節に合わせた装飾で居心地の良い空間になるよう努めている。行事では「読書週間」朝の10分間読書として、ST前に担任・生徒とも一週間読書を行う試みを始め、今年で5年目を迎えた。事後アンケートでは7割の生徒が読書の時間が確保されたことを肯定的に捉え、図書室の利用も増える傾向が見られる。他に保護者会期間に保護者が利用できる「親子貸出」や日頃聞けないテーマで生徒の興味関心を広げる試みの「教養講座」を行った。

#### (3) 教科の図書館利用

探究の時間の修学旅行の事前学習や1年の現代の国語のビブリオバトルで利用されている。ビブリオバトルでは初めて図書館の本を貸出する生徒も多く、利用を広げる絶好の機会となっている。

### 3 校外との連携

調べ学習では江南市立図書館の団体貸出を利用、また市内の小・中・高校と図書館の連携会議があり、情報交換や部活動の作品を図書館に展示するなどの交流がある。

### 4 まとめ

図書館の利用者を広げるには、分掌の取り組みだけでなく職員間の協力が不可欠であり、その効果は大きい。授業利用などを積極的に働きかけていきたい。また委員会活動では生徒たちの負担に配慮しながら、主体的に力を発揮できるようにサポートを心掛けたい。高校時代の読書が豊かな人間性を培う一助となるよう、図書館の運営、生徒支援を行って行きたい。